



キックオフセミナーでは、中路教授(右)が目指すべき健康教育の在り方を解説した

## 短命県返上へ基調講演

ウェルネス博 青森でセミナー開幕

9月から来年2月に 上活動の本質と企業活動「動」のテーマで、基調講演を行った。

短命県返上に向けた

産官学民の取り組みや健康教養の柱となる健康の成り立ちについて説明した中路教授は「健診を受けて知識がなかったら意味がない。健診の結果を見て、本人が変わらない限り良くならない」と強調し、幼少期からの健康教育の必要性を訴えた。

29日はエクスカーションとして青森市で「眺望山周遊トレイル」を行う。(山本恵子)

「ウェルネス博」を行う五所川原市のNPO法人かなぎ元気倶楽部は28日、企画の開幕となるキックオフセミナーを青森商工会議所で行った。約50人が基調講演や報告を通じ、本県の健康に向けた取り組みなどを学んだ。

青森商工会議所が共催。健康トレイルや音楽療法といった体験イベントを通じ、健康への気付きを促す狙い。

キックオフセミナー

では、弘前大学大学院医学研究科の中路重之特任教授が「短命県返